

株式会社精工技研

2003年3月期 決算説明会

2003年 5月20日



SEIKOH GIKEN

- . 2003年3月期 連結決算概要
- . 2004年3月期 連結業績見通し
- . 今後の事業戦略

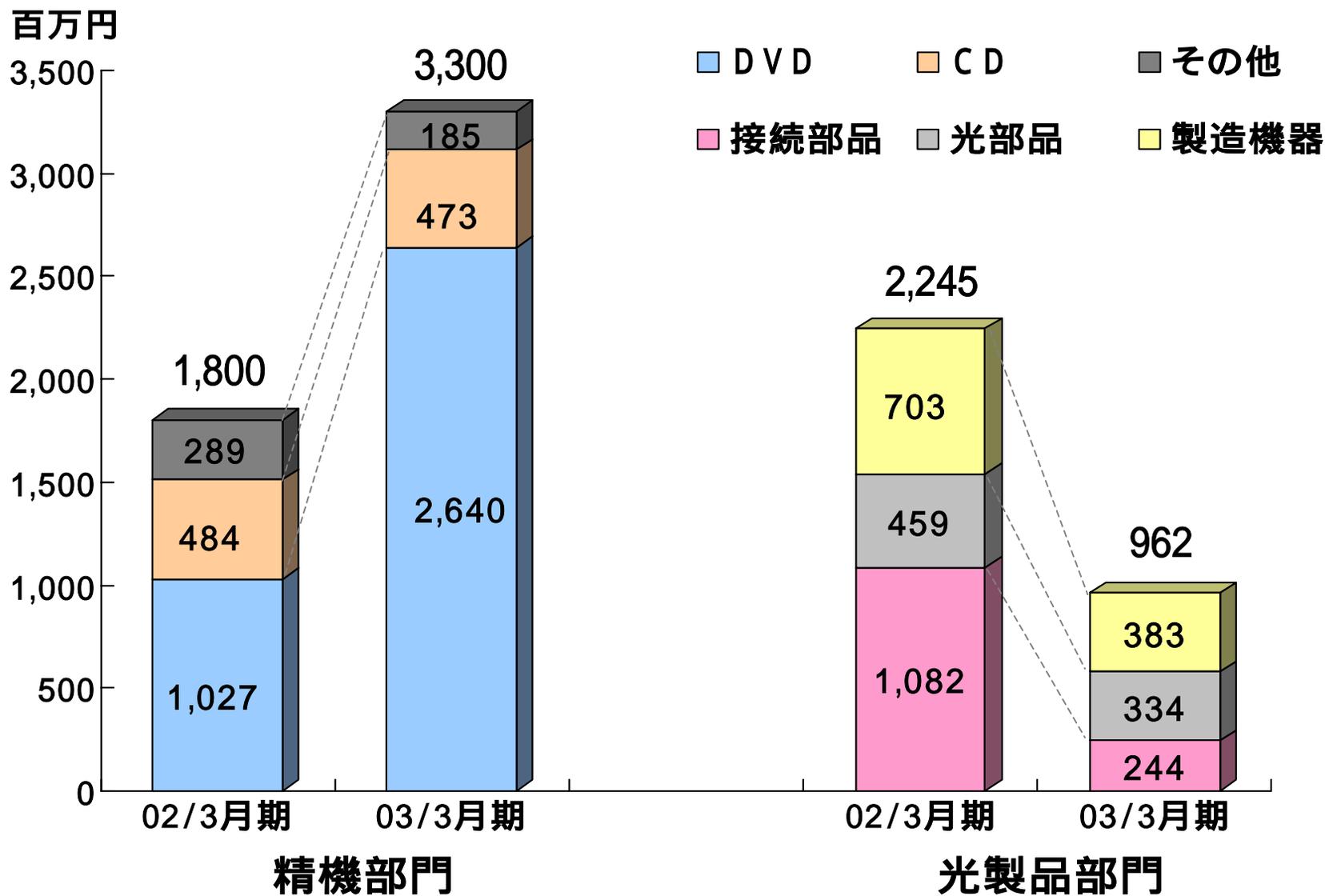
. 2003年3月期 連結決算概要

2003年3月期 連結決算ハイライト

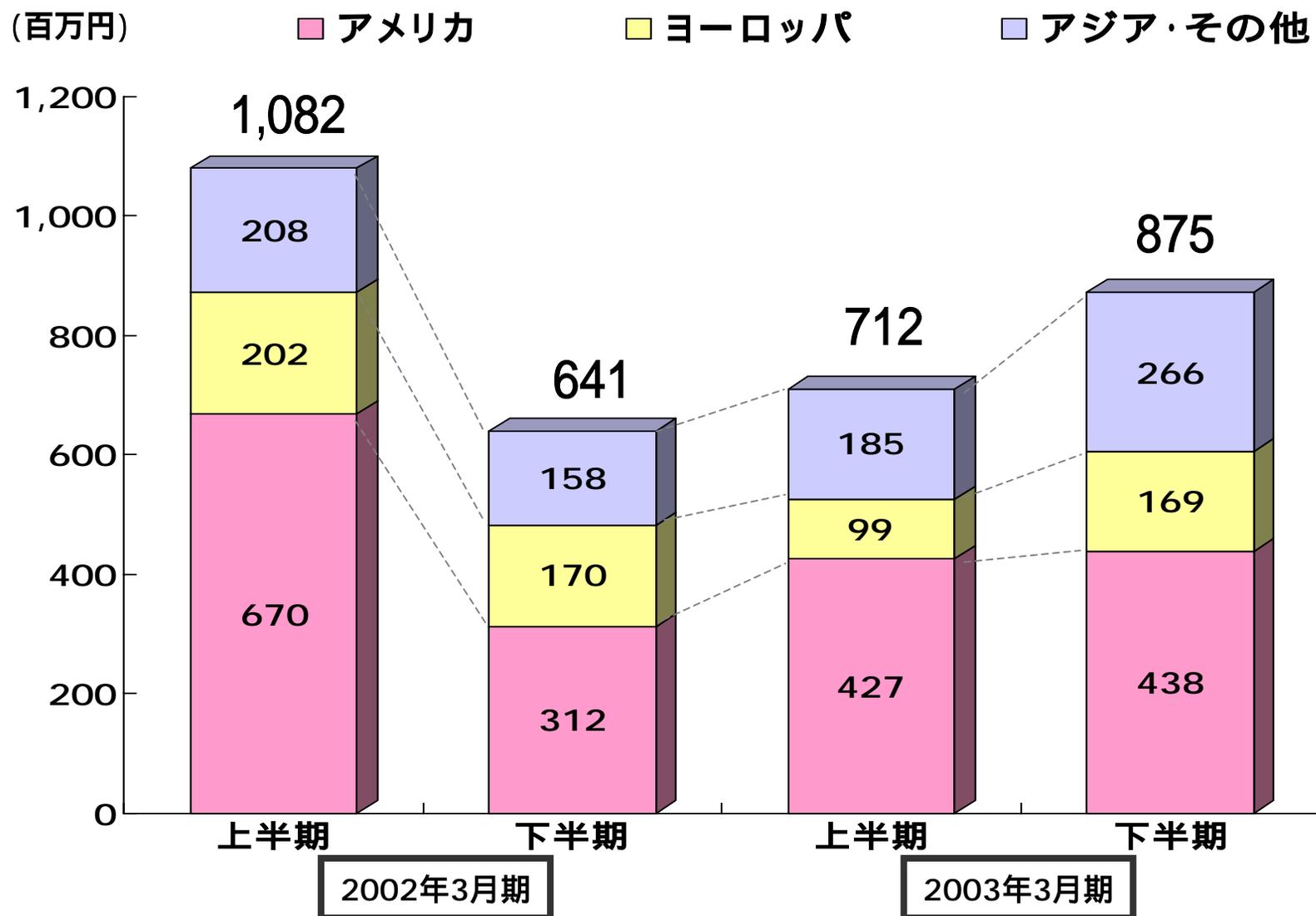
(百万円、%)

	2003年 3月期	前期比	2002年 3月期	業績 予想値
売上高	4,262	105.3	4,046	4,315
精機部門	3,300	183.3	1,800	3,339
光製品部門	962	42.9	2,245	976
営業利益	277	162.0	171	265
経常利益	197	848.3	23	200
当期純利益	1,186		942	190

セグメント別売上高



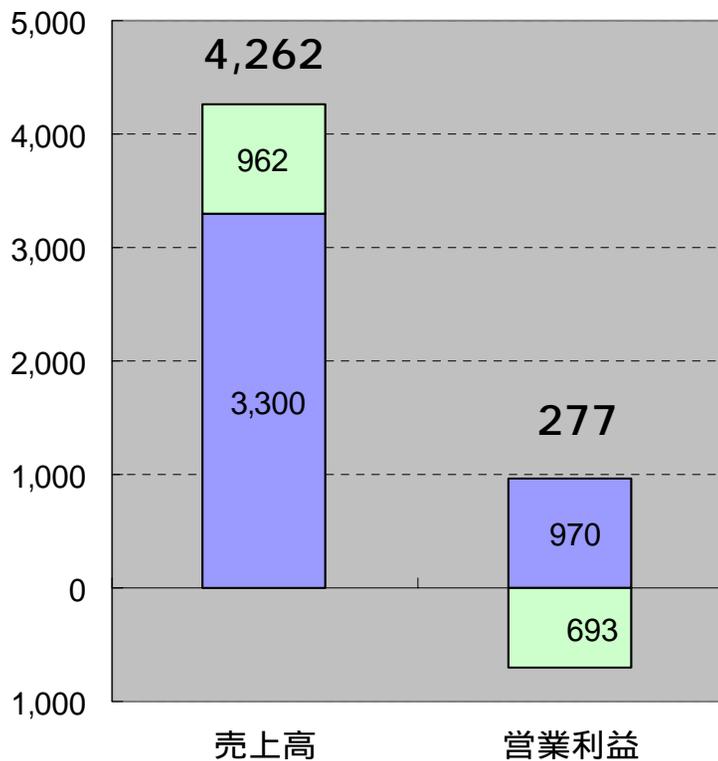
海外売上高推移



セグメント別営業利益

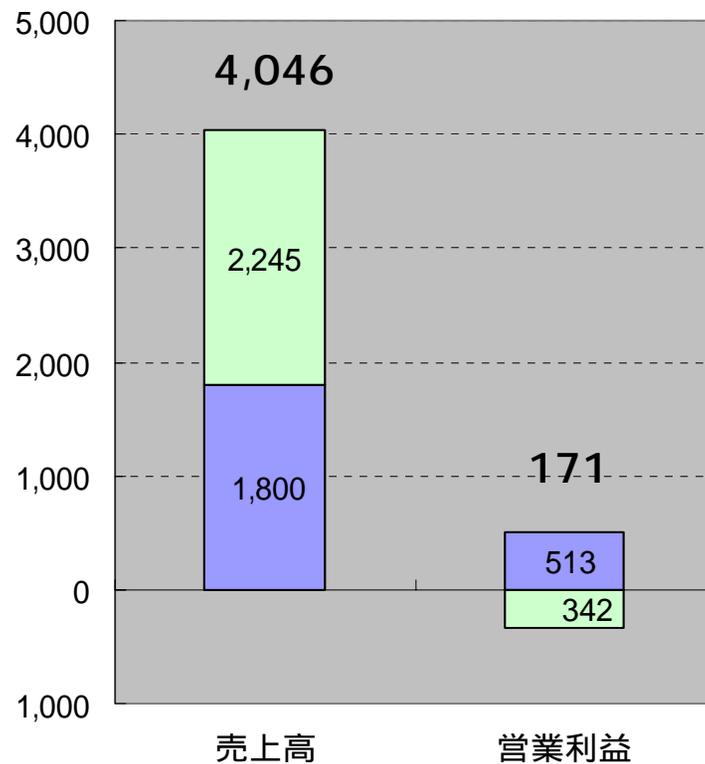
(百万円)

2003年3月期



(百万円)

2002年3月期



精機部門
 光製品部門

2003年3月期 連結決算ハイライト

(百万円、%)

	2003年 3月期	前期比	2002年 3月期
受注高	4,727	157.1	3,009
受注残	1,325	154.2	859
設備投資	105	4.0	2,605
減価償却費	542	95.1	570
技術研究開発費	366	94.1	389

セグメント / 精機部門

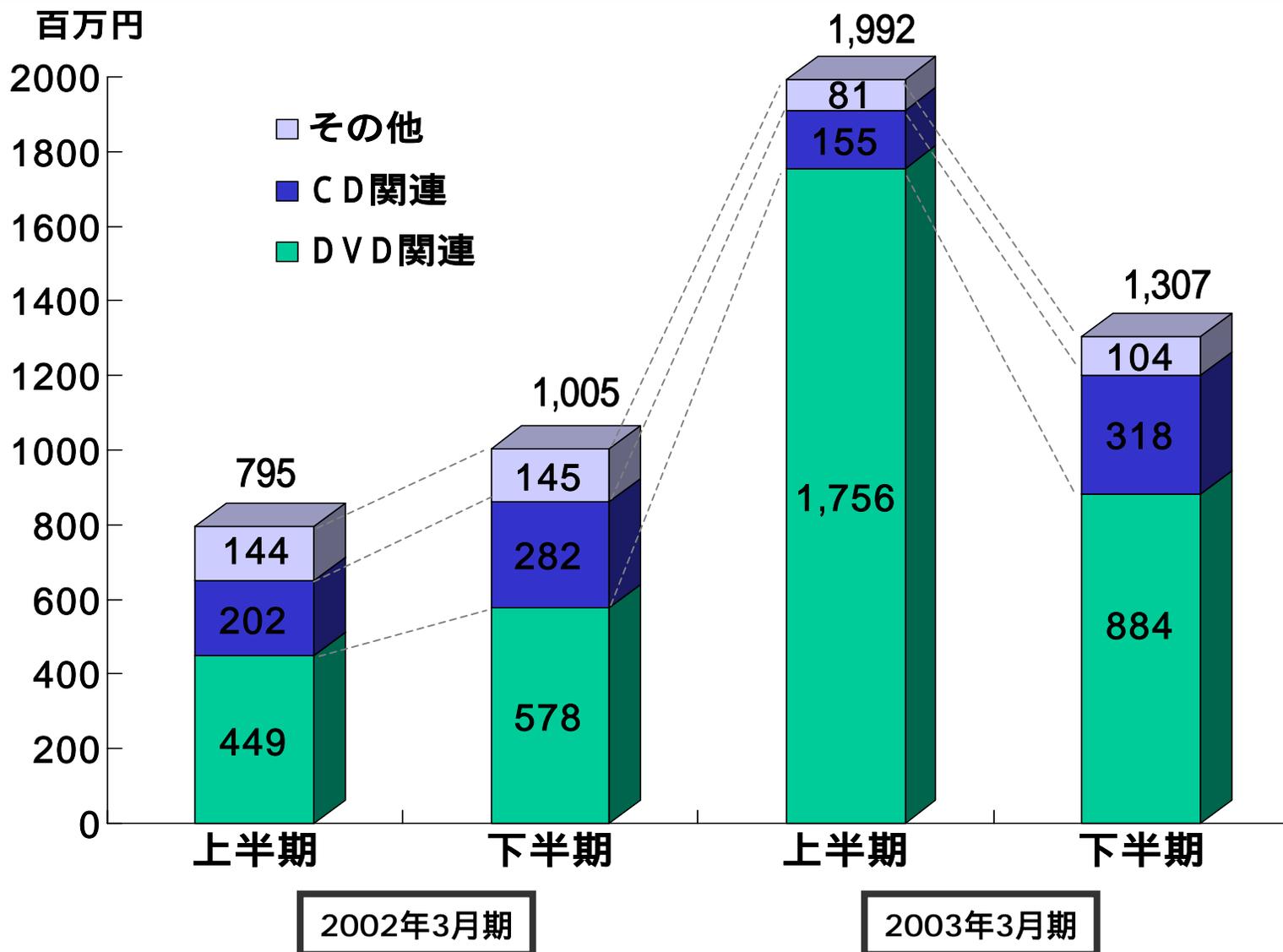
					(百万円、%)	
売上高	光ディスク	消去	連結	前期実績	前期比	
外部売上	3,300	-	3,300	1,800	183.3	
内部売上	89	89	-	274	32.6	
営業費用	2,418	89	2,329	1,561	154.9	
営業利益	970	-	970	513	189.0	

DVD-ROM用金型に対する需要の急激な立ち上がり

米国、ドイツ、台湾の各営業拠点の売上堅調

売上高 前期比83.3%増 営業利益 前期比89.0%増

製品売上推移 / 精機部門



セグメント / 光製品部門

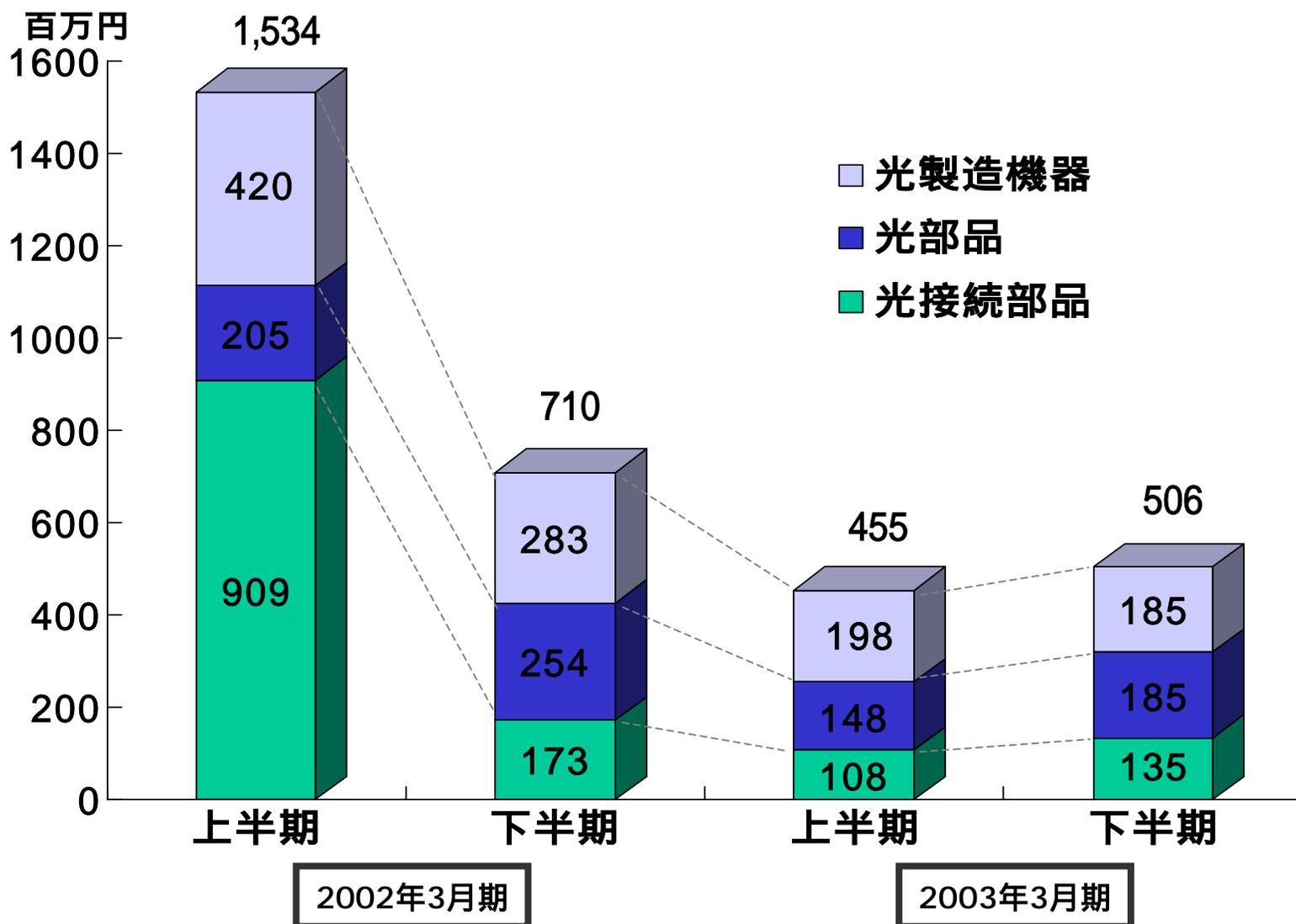
(百万円、%)

売上高	光製品	消去	連結	前期実績	前期比
外部売上	962	-	962	2,245	42.9
内部売上	-	-	-	-	-
営業費用	1,655	-	1,655	2,587	64.0
営業利益	693	-	693	342	-

光通信市場の停滞に伴い、売上の低迷は依然として継続

多品種・少ロット・短納期の受注に伴う生産効率の悪化、
試作品の増加等により、営業利益率は大幅に悪化

製品別売上推移 / 光製品部門



2003年3月期 連結貸借対照表

科目	(百万円)		
	2003年 3月期	2002年 3月期	増減
< 資産の部 >			
流動資産	13,964	16,049	2,084
固定資産	8,516	8,221	+294
資産合計	22,480	24,270	1,790
< 負債及び資本の部 >			
流動負債	558	412	146
固定負債	315	473	157
資本の部	21,539	23,313	1,774
負債・資本合計	22,480	24,270	1,790

2003年3月期 キャッシュフロー計算書

(百万円)

項目	2003年 3月期	2002年 3月期
営業 C F	1,695	1,618
投資 C F	1,067	392
財務 C F	343	200
現金増加額	243	1,422
期首残高	11,913	13,335
期末残高	12,156	11,913

. 2004年3月期 連結業績見通し

2004年3月期 通期連結業績予想

(百万円)	上半期	下半期	04/3月期 予想	03/3月期 実績
売上高	2,465	1,975	4,441	4,262
営業利益	423	185	608	277
経常利益	399	168	568	197
当期純利益	285	111	397	1,186
設備投資			583	105
減価償却			497	542
研究開発費			331	366

2004年3月期 連結業績予想（セグメント）

(百万円)	精機部門		光製品部門		消去	連結
	上期	下期	上期	下期		
売上高						
外部売上	1,984	1,355	481	620	-	4,441
内部売上	11	11	-	-	22	-
営業費用	1,420	1,145	633	656	22	3,833
営業利益	575	221	152	36	-	608

・ 今後の事業戦略

セグメント別事業施策（精機部門）

需要動向

- DVD-R等追記型需要拡大期に
- 高機能化への要求

1) メンテナンス事業の強化

- 海外販売拠点の営業強化
- 顧客に対する技術サポートの強化

2) コスト低減

- 部材・部品のグローバルな調達
- 製造原価の変動費化促進

3) 次世代ディスクの技術的対応への取り組み

- Blu-ray、AOD等

セグメント別事業施策（光製品部門）

1) 販売力の強化

- 中国市場における販売活動の強化
- メトロ、アクセス、CATV向けへのシフト

2) 技術開発

- 次世代に向けた新製品の開発

3) 製造コスト低減

- 中国拠点への生産移管の推進
- 短納期への対応

全社的な施策およびリスク

1 新事業開発の促進

- 精機・光の技術の融合
- コア技術の応用

2 グループ各拠点の損益改善

- 営業強化とコスト削減を徹底し、子会社を含めてすべての拠点の損益を改善

3 新人事制度の導入(平成15年4月～)

- グレード制度に基づく成果主義報酬制度
- 目標管理、コンピテンシー評価を活用した新評価制度

4 懸念されるリスク

- SARSによる影響

株式会社精工技研

2003年3月期 決算説明会

